

桐 生 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

開 会	令和7年7月11日（金）
閉 会	令和7年7月11日（金）
場 所	教育センター 3階 教育委員会室
出席者	教育長 小林 一 弘 委員 山野 玲 子 委員 松本 昭 彦 委員 小池 亮 子
欠席者	委員 板橋 英 之
説明のため 出席した職員	教育部長 森 広 一 教育部参事 渡 邊 真 宏 総務課長 峯 岸 孝 徳 学校教育課長 須 藤 英 隆 教育環境課長 糸 井 広 江 生涯学習課長 小 野 里 篤 史 文化財保護課長 向 田 澄 枝 図書館長 下 山 理 枝
事務局職員 出席者	庶務係長 山 本 江 美 子 庶務係（担当） 栗 原 有 美
時 間	開 会 午後 2 時 00 分 閉 会 午後 2 時 30 分

提 出 議 案		
議 案 番 号	件 名	結 果
	なし	
発 言 者	発 言 内 容	
教育長	<p>それでは、これより桐生市教育委員会 7 月定例会を開会いたします。 ただいまの出席者は、4 名であります。 直ちに会議を開きます。</p>	
教育長	<p>日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。 会議録署名委員は、会議規則第 18 条の規定により、小池委員を指名いたします。</p>	
教育長	<p>日程第 2 会期決定の件を議題といたします。 お諮りいたします。 今期定例会の会期は、本日 1 日といたしたいと思ひます。 これにご異議ありませんか。</p> <p><異議なしの声></p>	
教育長	<p>ご異議なしと認めます。 よって、会期は本日 1 日と決定いたしました。</p>	
教育長	<p>日程第 3 事務報告について を議題といたします。 課ごとに順次報告をお願いいたします。 (総務課から順次、建制順に事務報告)</p>	
教育長	<p>ただいまの事務報告について、質疑に入ります。 委員の皆さんから、何かございますか。</p>	
山野委員	<p>生涯学習課で 7 月 4 日に実施された第 1 回桐生市社会教育委員会議は、メンバーを変えられて今年度の 1 回目ということだと思いますが、どのような議題や話題が出て、会議がなされたのか、お話いただければと思います。</p>	
生涯学習課長	<p>第 1 回社会教育委員会議が開催されまして、今回、任期が昨年度と今年度の 2 年間の中で、学校の先生と PTA 会長の 2 委員が代わられ、新たに委嘱させていただきました。内容としましては、第 1 回目ということで、まず今年度の年</p>	

	<p>間予定を審議しました。第2回につきましては、9月に東毛地区の社会教育委員の研修会が桐生で開催され、その中で、今回、桐生市の社会教育委員から、放課後子供教室に関して発表をさせていただく予定になっており、会議の一環として全員で視察に行くということになりました。3回目・4回目につきましては、その視察の結果や、放課後子供教室についてなど、皆さんからご意見等があれば、それらについて検討していきたいということをお話させていただきました。おおまかな流れとしては以上になります。</p>
<p>山野委員</p>	<p>ありがとうございます。昨年、令和6年3月に社会教育委員さんから提出された放課後子供教室の提言書を教育委員会として拝見させていただいて、また今年度の1回目の会議でもやはり放課後子供教室のことを話題にして会議を進めていただいていることがとてもありがたいなと思いました。また、9月の研修会で桐生の取り組みを発表するということを知り、全校で頑張っていることを発表していただけるのでありがたいなと思いました。併せて、今日いただきました夏季の定期開催の別紙を拝見させていただいて、講師の方がどんな方なのか知りたかったのですが、すごくバラエティーに富んだいろいろな方にご協力いただいて、子供の豊かな体験活動を、全校でこれだけの数を計画していただけているということは、やはり今までのご苦労とか、社会教育委員さんの同志とか、そういったものがすごく力になっているのかなというふうに思いました。社会教育は、誰が、どこまで、ということを理解するのがとても難しいと思いますが、こういった子供たちに豊かな取組を進めさせてくださることが、また地域の方と結びつくことが、新しいコミュニティを生み出し、適正配置の統合等を実施していく中で新たなまちづくり・コミュニティづくりに生きていくといいかなというふうに感じました。ありがとうございました。今後ともぜひ社会教育委員さんの後押しをよろしくお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>小池委員</p>	<p>7月30日のICT活用実践講座と8月7日のICT授業実践講座は繋がりのあるのですか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>ICT活用実践講座につきましては、内容的には教職員が校務を進めるにあたっての、例えば便利な機能ですとか、エクセルシートとか、そういったものの活用の仕方を、基本的なものから上級的なものまで、先生方に伝達するような内容が主なものとなっております。8月7日のICT授業実践講座は、今年度、夏季休業中に各学校に電子黒板が導入されることは既にお伝えしてあるかと思いますが、実際に授業の中でどんなことができるのか、学校には教師用のデジタル教科書も導入されますので、そういったものと電子黒板を繋いでどんな</p>

	効果的な授業ができるのかということを具体的に取り扱い、市の指導主事が講師となって、先生方に授業の進め方について研修するような内容となっております。
小池委員	どんな方が出席されるのですか。
学校教育課長	こちらは市内の小・中学校の教諭全員が対象となっております、積極的な参加を呼びかけているところでございます。
小池委員	夏休み中に電子黒板が入ることなので夏休み明けにスムーズに使えるようになっているといいなと思います。
学校教育課長	電子黒板の導入を順次進めていく中で、若干2学期の始業まで時間がありますので、先生方にはどんどん触っていただき、例えば電子黒板等に既に触れたことのある先生たちもいらっしゃると思いますので、そういった先生を中心に、校内でもぜひ自主的な研修をどんどん進めていただくように学校には呼びかけております。
教育長	先生方の校務に関わる研修と、授業に関わる研修というふうに中身が違うということですね。
松本委員	今のお話に関連するかと思いますが、今、夏休み中にいろいろな兼ね合いで、学校閉庁期間などを作って、ある程度、先生方が余裕を持てるようにというような、そういう方向はあると思いますが、一方で、いろんな研修があり、スキルアップを図っていただきたいという部分もあると思います。本市の場合には、桐生市のこのような教育施設、教育センターがあって、さらに県もあるので、どういうところに特化して、先生方にスキルアップを図ってもらうか、ある程度狙いを絞る必要があると思います。先ほど小池委員さんにご指摘いただいたように、例えば特に今年はICT関係が大事になるので、そこを重点的に先生方に学んでいきいただきたいとか、あるいは最初に説明があったように、特別支援関係に特化して学んでいただきたいとか、そのような何か方針的なものや方向性みたいなものがあれば聞かせていただきたいと思います。
学校教育課長	市の方針といたしましては、今年度はやはり教育のICT化、これが大きな柱になると考えております。子供たちにとってわかる授業、先生方に効率的で、子供たちに学力がしっかりとつく授業という観点からは、やはりICT機器を上手に使いこなすということが今年度は一番大きな柱と考えております。また特別支援の方法の研修等もちろん行います。様々な方面の研修も企画はしてお

	<p>りますが、そういった中でやはり ICT がメインになるのかなというふうに考えております。</p>
松本委員	<p>研修をやって、やりっ放しというのではなくて、それが成果として、先生方にどういうふうに染み付いているのか、その辺の検証はやはりする必要があるような気がします。重点的に ICT ということであれば、先生方の中にそういうものがどれくらい浸透しているのかというような、そういった成果についても順次確認をしていただけるとありがたいなと思います。</p>
学校教育課長	<p>2 学期に指導主事が各学校を訪問して先生方の授業の様子を拝見させていただきます。学校での電子黒板の活用について指導主事にはしっかりと見てきていただいて、どのようにわかりやすい授業に変わっているのか、その点も含めて、市の方で把握していきたいと考えております。また、電子黒板について、どれくらいの活用があるのか、こちらからも確認ができるようなシステムが付いていると伺っておりますので、そのような数値も検証の中に含めていけたらと考えております。</p>
松本委員	<p>あまり使っていない学校は指導されますか。</p>
学校教育課長	<p>ただ何でもかんでも使えばいいというものではないと考えております。効果的な場面で、子供たちが「なるほどな」とわかるような場面で、デジタルコンテンツ等を使いこなす授業が理想だと思っております。今までのチョークと黒板を使うような部分も当然必要かと思えます。子供たちが実際に手を動かして活動するような場面も必要だと思っておりますので、そういった中で電子黒板、デジタル教科書が効果的に活用されているかどうかも含めて、しっかりと検証といえますか、確認をしていけたらと思っております。よろしく申し上げます。</p>
教育長	<p>他に何かございますか。</p>
生涯学習課長	<p>発言を訂正させていただきます。先程、山野委員から社会教育委員会議の件でご質問をいただきまして、第 2 回目は東毛地区の研修会、第 3 回目には、今回、ミニきりゅうの視察に行きたいということで企画をしていただいたところです。以上です。</p>
教育長	<p>よろしいでしょうか。 他に何かございますか。</p>
山野委員	<p>教育環境課には大変な適正配置の会議を進めていただいているところで、前</p>

	<p>回の定例会の時にたくさんの資料をいただき、拝見させていただきましたが、びっくりしました。まず、あれだけ多くの方に、子供たちの桐生の今後の学区の展開について考えていただけているということ。それから、会議に来てくださっている様々な立場の方々に、市の考えや方向性を理解していただけるような付属の資料。一番びっくりしたのは、子供たちを点で表した資料。ああいうものがあるといいなと思っていました。子供たちがどこに集まるのだろうかというイメージができ、文章の量が適切です。本当に大変ご苦労なされたのだと思います。なかなか機会がないので、まずお礼を言いたいなと思っていました。非常に順調に進んでいるように拝見していますが、とにかくやはり子供のことを真剣に考えてくださっている方がたくさんいること、それをご理解いただいている方がたくさんいるということに感謝し、それを進めてくださっていることにお礼を言いたいと思いました。</p>
<p>教育環境課長</p>	<p>励ましのお言葉、本当にありがとうございます。これから子供たちの数がどんどん少なくなっていくということ、それからその子供たちがどこにどれくらいいるのか、その子供たちが安全に学校に通うためにはどうしたらいいのか、また、学校の適正な規模を考えたときに、どの地区の、どの場所がいいのかというような具体的などころに入ってきているので、非常に難しい局面に来ていると思います。ただ、係員たちがいろんなアイデアを出しながら、ああいった資料を作り、根拠をしっかりとさせ、市の教育委員会としてのケースをいくつか出させていただきながら話し合いを進めていただいているところです。</p> <p>地域の皆様方のご意見を伺っていると、やはりこれだけ子供も少なくなっている中で、その子供たちにより良い環境を与えていくことが使命だというような趣旨のご意見が多く、また、一方で自分の地区に学校が残ることを大切に思う気持ちは、もちろんどこもあるかと思いますが、先を考えたときに、子供たちがどうしたら付けるべき力をしっかりと付けられるか、そんな学区を作っているかということも考えて、いろいろなご意見をいただきながら進めているところです。今後、秋になりましたら地域協議会が始まりますが、そこに向けて現在は各中学校区でのご意見をたくさん集めて、それをもとに秋の複数の地区が集まって話をする場に持っていけるように、会議を進めさせていただいております。非常に励みになるお言葉をいただき、ありがとうございます。</p>
<p>教育長</p>	<p>他に何かございますか。</p> <p>質疑も出尽くしたようですので、これをもって質疑を終結いたします。</p> <p>日程第4 次回以降の教育委員会定例会について確認いたします。8月定例会については、8月7日(木)午後2時から、桐生市教育センター3階教育委員会室での開催を予定しています。9月定例会については、9月29日(月)</p>

	<p>午前 11 時から、桐生市教育センター3 階教育委員会室での開催を予定しています。次に、10 月定例会の予定について、事務局からご提案願います。</p>
<p>教育部長</p>	<p>10 月定例会につきましては、10 月 15 日（水）午後 2 時からの開催をご提案申しあげます。</p>
<p>教育長</p>	<p>10 月定例会については、10 月 15 日（水）午後 2 時からという提案がありましたが、よろしいでしょうか。</p>
	<p>< 異議なしの声 ></p>
<p>教育長</p>	<p>ご異議なしと認めます。それでは、10 月 15 日（水）午後 2 時に予定させていただきます。会場は、追って、ご連絡いたします。</p> <p>以上で、本日の日程は終了いたしました。これをもって、桐生市教育委員会 7 月定例会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。</p>